

西脇市立西脇病院
改革プランの推進状況
(令和2年度)

令和3年2月9日

目 次

I 令和2年度11月末の収支状況

1	概況	．．．．．	P 3
2	収支状況	．．．．．	P 4
3	経営指標	．．．．．	P 5

II 改革プランの目標進捗状況

1	基本事項	．．．．．	P 6
2	医療の質の向上	．．．．．	P 7～
3	経営資源の強化	．．．．．	P 11～
4	職員の確保と意欲向上	．．．	P 20～
5	再編・ネットワーク化	．．．	P 23～

I 令和2年度11月末の収支状況

1 概況

1日当たり入院患者数は、284.2人（令和元年11月末 282.9人）、外来患者数は、436.5人（令和元年11月末 484.2人）となり、令和元年11月と比較すると、入院患者数は増加したが、外来患者数は減少している。

病床稼働率については、88.8%となり、令和元年11月末（88.4%）より、0.4ポイント上回った。

当年度11月末の純損益では、△197,552千円となり、令和元年11月末（△27,397千円）と比較して 170,155千円減少した。

2 収 支 状 況

(単位:百万円)

区 分		R元年度 11月累計	R2年度 11月累計	対前年		
				増減	比率(%)	
収 益	総 収 益	5,387	5,515	128	102.4	
	医 業 収 益	5,020	5,013	△7	99.9	
	うち	入 院 収 益	3,519	3,569	50	101.4
		外 来 収 益	1,106	1,046	△60	94.6
		そ の 他	395	398	3	100.8
	そ の 他 の 収 益		367	502	135	136.8
費 用	総 費 用	5,414	5,712	298	105.5	
	医 業 費 用	5,290	5,445	155	102.9	
	うち	職 員 給 与 費	2,812	2,924	112	104.0
		材 料 費	1,067	1,116	△49	104.6
		経 費	902	912	10	101.1
		減 価 償 却 費	476	466	△10	97.9
		そ の 他	33	28	△5	84.8
	そ の 他 の 費 用		124	267	143	215.3
差 引	経 常 損 益	△21	△190	△169	—	
	純 損 益	△27	△197	△170	—	

3 経営指標

区分		単位	R2年度 目標	R元年度 11月実績	R2年度 11月実績	対前年		評価	
						増減	比率(%)		
業務量	患者数	1日当たり 入院患者数 (病床稼働率)	人	293.0	282.9	284.2	1.3	100.5	B
			%	91.6	88.4	88.8	0.4	—	
		平均在院日数	日	15.0	16.2	17.1	0.9	105.6	C
		1日当たり 外来患者数	人	510.0	484.2	436.5	△47.7	90.1	C
	診療単価	入院	円	52,000	50,986	51,475	489	101.0	B
		外来	円	14,800	14,092	14,700	608	104.3	B
		入院・外来収益	億円	74.0	46.2	46.1	△0.1	99.7	C
財務指標	経常収支比率	%	100.3	99.6	96.6	△3.0	—	C	
	職員給与費比率	%	57.8	56.0	58.3	2.3	—	C	
	材料費比率	%	21.0	21.3	22.3	1.0	—	C	
	経費比率	%	20.3	18.0	18.2	0.2	—	C	

[評価方法 A:実績>目標・前年 B:目標>実績>前年、前年>実績>目標 C:目標・前年>実績]

Ⅱ 改革プラン目標進捗状況

1 基本事項

(1) 今後果たすべき役割		
取組状況	<ul style="list-style-type: none">3.0テスラMRIの運用強化地域医療支援病院の承認要件を維持認定看護師資格の取得臨床研修指導医資格の取得（新型コロナの影響により中止）	自己評価 B
(2) 一般会計繰出金		
取組状況	<ul style="list-style-type: none">総務省繰出基準による負担 【2年度 総額 1,000百万円】 収益的収支 602百万円 資本的収支 398百万円	自己評価 A
(3) 病院と地域の連携		
取組状況	<ul style="list-style-type: none">西脇病院フェスタ中止 （新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため）地域医療検討会への参加「西脇市の地域医療を守る条例」に対応した普及啓発の強化	自己評価 B

2 医療の質の向上

(1) がん治療の医療体制の構築

主な取組目標	a がん診療連携拠点病院の継続 b 緩和ケア食の構築 c. 緩和ケアチームへの協力 d. 病診連携の強化 e. 人間ドックのオプション検査等 f. がん関連認定看護師等の育成	取組状況	a 緩和ケア提供体制の充実等がん診療連携拠点病院の指定更新に向けて体制整備を進めた。 b. 関係各科と調整し、整備中。 c. 主治医が緩和ケアチームと連携し、迅速かつ適切にがん患者の苦痛に対応できるよう院内統一の緩和ケアスクリーニング手法の導入を引き続き進めている。 d. 地域の50医療機関を訪問し、当院での治療実績や受け入れ体制について説明を行い、病診連携の強化に努めている。 e. 乳がん検診について、女性スタッフでの対応を継続し、受診の促進に努めている。 f. がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師が中心となり、看護師の育成に取り組んでいる。	自己評価
	B			

主な実績	項目		R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況
	新入院がん患者	(人)	1,057	1,050	990	1,100	A
	放射線治療	(人)	1,983	機器更新	591	591	C
	外来化学療法	(人)	1,239	1,300	669	1,110	C
	3がん(子宮、肺、乳)合計検診	(人)	1,360	1,430	787	1,240	C
	高度機器(CT,MRI,RI,マンモ)撮影件数	(件)	24,196	24,000	15,479	23,640	C

2 医療の質の向上

(2) 脳卒中治療の病病、病診連携体制の構築

主な取組目標	a. クリニカルパスの効果的な運用	取組状況	a. クリニカルパスの効率的な運用のため、圏域内の連携病院を増やしていく。				自己評価
	b. 3.0テスラMRIの運用		b. 平成26年7月から稼働している。				
	c. 認定看護師の育成 (摂食嚥下障害)		c. 摂食・嚥下障害看護認定看護師を入院棟に配置し、NSTなどの活動を行っている。				B
	d. 緊急時の積極的な受け入れ		d. 脳神経外科医の当直体制により、救急患者の積極的な受け入れが行われ、早期手術に対応している。				
主な実績	項 目		R元年度 実績	R2年度 目標	R2年度 (11月末)	R2年度 (見込)	推進 状況
	パスによる紹介件数	(件)	128	130	87	130	A
	脳卒中(脳外科)入院件数	(件)	466	500	285	430	C
	脳血管治療件数	(件)	107	120	99	140	A

2 医療の質の向上

(3) 幅広い糖尿病治療により選ばれる病院の構築

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 糖尿病教室 b. 外来や予防指導の充実 c. 糖尿病患者への栄養指導 d. 専門知識を持つスタッフの育成 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 参加型糖尿病教室は、夏季は実施したが、コロナ禍のため、秋季以降は中止している。糖尿病教育入院は継続中である。 b. 管理栄養士側から継続指導の依頼・提案を行っている。 c. 外来栄養指導の当日依頼を積極的に受け入れた。 d. 糖尿病療養指導士を中心に、オンライン研修に参加している。 	自己評価
	B			

主な実績	項目		R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況
	入院	透析 (件)	1,029	1,100	606	900	C
	外来	透析 (件)	6,030	6,100	4,454	6,500	A
	栄養指導合計 (件)		1,918	2,150	1,481	2,220	A
	NST介入件数 (件)		1,300	1,200	785	1,180	B

2 医療の質の向上

(4) 資格取得などによる医療提供力の強化

主な取組目標	a. 認定看護管理者教育課程受講	取組状況	a. ファーストレベル：4名 セカンドレベル：2名	自己評価
	b. 認定看護師教育課程受講		b. 感染管理認定看護師：1名 (R元：受講、R2取得)	A
	c. 臨床研修指導医講習受講		c. 講習開催中止のため、次年度受講予定	

主な実績	項目		R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況
	資格・認定取得者数	(人)	7	7	6	7	A

3 経営資源の強化

(1) 入院収益の確保

主な取組目標	a. 急性期一般入院料 1 b. 大腿骨頸部骨折の救急患者受入れ 早期手術の実施（48時間以内） c. 施設基準の取得	取組状況	a. 急性期一般入院料 1 を維持するため継続的な看護職員の確保に努めながら、重症度、医療・看護必要度の評価項目の精査及び精度の向上を図っている。 b. 多職種連携によるチーム医療の体制づくりを行い、運用している。 地域の医療機関を訪問し、当院の治療内容等について説明した。 c. 産婦人科医を増員することで、ハイリスク分娩管理加算の算定を開始した。	自己評価
				B

主な実績	項目		R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況
	1日平均入院患者数	(人)	292.0	293.0	284.2	290.0	C
	病床稼働率	(%)	91.3	91.6	88.8	90.6	
	1人1日入院診療単価	(円)	50,073	52,000	51,475	51,700	B
	入院収益(1月当り)	(億円)	4.46	4.63	4.46	4.56	B

3 経営資源の強化

(2) 外来収益の確保

主な取組目標	a. 救急医療体制の強化 b. 造影検査枠の拡充 c. 地域の医療機関との連携強化 (情報共有・情報提供)	取組状況	a. 消防との意見交換会を開催し、連携強化を図ることにより、積極的な救急患者の受入れ・確保に努めている。 b. 予約枠を拡充し、より多くの造影検査を実施している。 c. 病院の取組みに関する情報提供を行うため、地域の医療機関へ積極的な訪問を行っている。 また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、西脇市多可郡医師会と連携して、発熱トリアージ外来を開設している。	自己評価
				B

主な実績	項目		R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況
	1日平均外来患者数	(人)	477.0	510.0	436.5	450.0	C
1人1日外来診療単価	(円)	14,322	14,800	14,700	14,700	B	
外来収益(1月当り)	(億円)	1.37	1.52	1.34	1.41	B	

3 経営資源の強化

(3) その他収益の確保

主な取組目標	a. 人間ドック受診枠の運用	取組状況	a. 院内感染拡大防止のため、4月・5月は人間ドック等の健診を自粛し、予約変更などを柔軟に対応した。	自己評価
	b. 協会けんぽ健診午後枠の設定		b. 協会けんぽ健診の受診枠について、毎週水曜日午後に最大4人までの受診枠を設定したため、受診が増加している。 (ジャパンマンモグラフィーサンデーとして、昨年度に引き続き、日曜日に乳がん検診を実施した。)	B

主な実績	項目		R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況
	成人病検診	(人)	817	800	555	830	A
一泊人間ドック	(人)	48	50	26	35	C	
日帰り人間ドック	(人)	538	550	331	450	C	
乳腺ドック	(人)	21	25	17	25	C	
乳児・新生児健診	(人)	301	310	223	330	A	
妊婦健診	(人)	2,051	2,100	1,618	2,100	A	

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ア 薬剤業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 薬剤師の入院棟配置 b. 抗がん剤調製の100%実施の維持（休日対応含む。） c. 後発医薬品の採用促進 d. 医薬品情報等の情報提供強化 e. チーム医療 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 病棟薬剤業務は、20時間／週を維持している。病棟一般注射混合業務と配薬セット業務は、継続中である。 b. 抗がん剤調製業務量は、100%実施中。 c. 薬事委員会で後発医薬品への切替えを検討し、順次切り替えている。 d. 院内LAN等を利用し、情報提供を行うとともに、他部門と共催で勉強会等を開催し、情報の共有化を強化している。 入院支援業務への取組みを開始した。 e. 各種認定薬剤師が、積極的にチーム医療に取り組んでいる。 	自己評価
	B			

主な実績	項 目		R元年度 実績	R2年度 目標	R2年度 (11月末)	R2年度 (見込)	推進 状況
	ハイリスク指導件数	(件)	4,203	4,200	3,295	4,943	A
	その他指導件数	(件)	6,654	6,300	4,135	6,203	C

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（イ 検査業務）

主な取組目標	a. 人材の確保・育成	取組状況	a. 各種認定検査士の確保・育成。 細胞検査士：1名	自己評価
	b. 各科からの検査要求対応		b. 新型コロナウイルス感染症対策を万全にとりながら、緊急の検査依頼に柔軟に対応している。	B
	c. チーム医療への参画		c. 感染管理(IGT・AST)、栄養サポート、糖尿病療法指導等への参画。	

主な実績	項目		R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況
		超音波検査件数	(件)	8,520	8,500	5,990	8,985
	肺機能検査件数	(件)	1,766	1,770	875	1,313	C
	重心動揺検査件数	(件)	0	5	0	0	C
	脳波検査件数	(件)	259	250	123	185	C
	ABI検査件数	(件)	646	650	415	625	C
	心電図検査件数	(件)	8,910	8,900	5,834	8,751	C

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ウ 放射線業務）

主な取組目標	a. 3.0テスラMRIの運用 b. 機器の更新 c. スタッフの育成	取組状況	a. 平成26年7月から稼働している。 紹介患者を積極的に受け入れている。 また、救急検査を迅速に受け入れている。 b. 計画的な機器の更新に伴い、業務の効率化と業務量の確保に努めた。 c. X線CT認定技師の資格を取得、臨床実習指導教員資格の更新、新人教育マニュアルの更新を行った。	自己評価 B

主な実績	項目				R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況		
	C	T	件数	(件)	16,194	16,000	10,546	15,900	C		
	M	R	I	件数	(件)	6,188	6,100	3,812	5,900	C	
	R	I	件数	(件)	304	400	265	440	A		
	マ	ン	モ	件数	(件)	1,510	1,500	856	1,400	C	
	ア	ン	ギ	件数	(件)	379	380	259	390	A	
	骨	塩	定	量	件数	(件)	1,156	1,200	679	1,050	C
	一	般	撮	影	件数	(件)	24,983	25,000	15,286	24,000	C

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（エ リハビリテーション業務）

主な取組目標	a. 地域包括ケア病棟の施設基準であるリハビリ2単位以上を維持	取組状況	a. 地域包括ケア病棟の施設基準であるリハビリ2単位以上を維持している。	自己評価 B
	b. 1日1人取得目標単位数は「18単位」 c. リハビリ3連休の解消 d. スタッフの育成		b. 12月の平均単位数は、18.3単位である。 c. 休日診療日数を2回から4回に拡大。 d. がん患者リハビリを算定できるスタッフを育成	

主な実績	項目		R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況
		脳血管疾患リハ単位数	(単位)	26,442	27,700	20,396	30,594
	廃用症候群リハ単位数	(単位)	18,703	18,700	8,541	12,812	C
	運動器リハ単位数	(単位)	14,474	15,200	13,296	19,944	A
	呼吸器リハ単位数	(単位)	263	4,000	3,151	4,727	A
	摂食療法リハ単位数	(単位)	1,189	1,200	579	869	C
	がん患者リハ単位数	(単位)	452	500	100	150	C

3 経営資源の強化

(5) 地域医療連携への取組

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 地域医療支援病院承認要件の維持 b. パスによる連携強化 c. 地域医療機関との連携 d. 退院調整の強化 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 紹介率向上に向けて、西脇・多可・加東市の開業医へ訪問し、広報活動を行った b. 入院早期から対象者へ、リハビリ病院の情報提供や退院調整を行った。 c. 紹介早期に来院報告、入院報告、最終報告を行うしくみを作り、地域の開業医との連携を強化した。 d. 入院前支援を開始したことにより、入退院に関する情報の共有が早期に行えるため、必要な支援につなげることができている。 	自己評価
	B			

主な実績	項目		R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況
	紹介率	(%)	65.5	65.0	67.5	67.5	A
	逆紹介率	(%)	71.9	65	70.5	70.5	B
	退院支援加算I	(件)	2,395	2,120	2,032	3,048	A
	介護支援連携指導	(件)	561	560	314	471	C
	退院時共同指導	(件)	86	85	70	105	A

3 経営資源の強化

(6) その他の取組・強化

主な取組目標	<p>〔診療報酬の適切な請求等の強化〕</p> <p>a. 診療報酬改定に伴う情報提供</p> <p>b. 診療報酬査定・返戻の分析及び医師への提言</p>	取組状況	<p>a. 診療報酬請求の精度を高めるため、管理運営会議や医師会議で、改正後の留意点、詳細不明コードなどの資料提供と説明を行った。</p> <p>b. 査定・返戻の内容を精査し、必要の都度診療科や医師へ確認及びフィードバックを行っている。</p>	自己評価
	<p>〔経費削減〕</p> <p>a. 医薬品、診療材料の値引きの促進</p> <p>b. 効率的な施設運営による光熱水費節減</p>		<p>a. 効率的な値引きの促進を行っている。</p> <p>b. 使用料の削減に努めている。</p>	A
	<p>〔その他〕</p> <p>a. 滞納者への職員訪問の継続</p> <p>b. 滞納者に対する再自動受付機の使用制限による直接受付時の面談実施</p> <p>c. ボランティアの受け入れ</p> <p>d. 看護業務の平均化への取組み</p> <p>e. 手術室2名宅直体制への移行</p>		<p>a. 引き続き、職員による訪問を実施している。</p> <p>b. 滞納者に対する再自動受付機の使用制限による直接受付時の面談督促を継続。</p> <p>c. 植栽ボランティアを受け入れている。</p> <p>d. 各部署間の応援体制を継続している。</p> <p>e. 手術室の2名宅直体制を継続。</p>	

4 職員の確保と意欲の向上

(1) 医師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 公募等積極的な募集 b. 病院見学、病院説明会 c. 院内保育所の有効活用 d. 医師事務作業補助者による医師の事務処理の軽減化 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 西脇病院の魅力のアピールとホームページによる積極的な医師募集や、業者紹介医師への対応を強化した。 b. 病院見学の実施及びオンラインを活用した病院説明会に参加。 c. これまで利用実績があり、受け入れ態勢は整っている。 d. 医師事務作業補助者が2名増員となり、医師の事務処理の軽減化を図っている。 	自己評価
	B			

主な実績	項目		R元年度実績	R2年度目標	R2年度(11月末)	R2年度(見込)	推進状況
	医師	数 (人)	52	55	50	50	C
	研修医	数 (人)	14	14	14	14	B

4 職員の確保と意欲の向上

(2) 看護師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育所の有効活用 b. 看護学生へのワークショップの継続 c. 修学資金制度の継続実施 d. スキルアップのための研究、研修会への参加支援 e. 確保・離職防止のための改善の検討強化 f. 看護学校へ講師派遣と実習生受入れの充実 g. 看護学生アルバイトのインターシップ化 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育による育児短時間勤務を活用した看護師の早期復帰。 b. 新型コロナウイルス感染症の影響で中止したが、3年度以降も実施を予定。 c. 引き続き、5年間延長し、看護師等の確保に努める予定。 d. 積極的な研修参加の推進と参加支援を継続している。（認定看護師の資格取得 1名） e. フレックスタイムの活用や部署間の応援体制を継続している。 f. 継続して実施した。 g. 新型コロナウイルス感染症の影響で中止したが、3年度以降も実施を予定。 	自己評価			
	B						
主な実績	項 目		R元年度 実績	R2年度 目標	R2年度 (11月末)	R2年度 (見込)	推進 状況
	奨学資金貸与者数	(人)	20	15	10	9	C
	年度末正規看護職員数	(人)	261	270	270	269	B

4 職員の確保と意欲向上

(3) 職員の意欲の向上

主な 取組 目標	a. 職員満足度アンケートの実施 (年2回) b. モチベーションアップチームの活動継続 c. 参加しやすい院内研修 d. 院外研修への参加支援 e. 西脇病院フェスタの継続実施	取組 状況	a. 年2回(7月・11月)実施した。 b. 職員満足度アンケートの実施、その他の活動内容を引き続き検討している。 c. 計画的に、感染対策研修会・院内研究発表会等を開催している。 感染対策研修、接遇研修は、動画配信により実施した。 d. 医療技術職や看護職等、各種研修会への参加を支援している。 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる各種研修会に参加した。 e. 新型コロナ感染症感染拡大防止のため、西脇病院フェスタを中止した。	自己 評価
	B			

5 再編・ネットワーク化

取 組 状 況	・相互医師派遣			自己 評価
		西脇病院から派遣		西脇病院へ派遣
	多可町内診療所	内 科 (H23.2~)		—
	多可赤十字病院	皮膚科 (H23.1~) 総合診療科 (H27.8~H29.8) 外科 (H27.8~H29.7) 内科 (H31.4~) 乳腺外科 (R2.12~)		人工透析 (H29.9~)
	加東市民病院	皮膚科 (H23.4~) 内科内視鏡 (H26.4~H31.3)		血管外科 (H21.4~)
	県立丹波医療センター (県立柏原病院)	放射線科 (H20~)		—
	公立八鹿病院	麻酔科 (H31.4~)		—
	公立豊岡病院	麻酔科 (R元.6~)		—
	北播磨総合医療センター	—		心臓血管外科 (R元. 10~) 超音波内視鏡 (R元. 12~)
	・地域医療連携システム「北はりま絆ネット」の本格運用を継続中			